

レポート・卒論作成時に使う情報は、自分の主張を述べるときの証拠（裏づけ）になるため、その情報の**信頼性**が重要です。そのためには、その情報を評価しなければなりません。それぞれの情報の特徴から、レポート・卒論に適した内容か判断してください。

### 図書 ～文献収集の基本中の基本！～

速報性：低

#### 信頼性を見極めポイント

- どのような経歴の人が著者か？  出版年はいつか？改訂版があるか？
- 引用・参考文献リストが付いているか？ → その本の内容が何を根拠に書かれているか評価できます。また、その文献情報がさらなる情報になります。

一般的に図書は、研究者や専門家によって書かれ、編集者や出版社の手を経て発行されるので、内容について責任の所在が比較的明確です。

#### COLUMN

#### テーマの概要を体系的に知りたいときは？

入門書・概説書・新書が役に立ちます。  
「〇〇学入門」「〇〇学を学ぶ人のために」「はじめての〇〇学」等をキーワードにして図書館の本を探してみてください。

### 新聞 ～さまざまな出来事を素早く報じる！社会的な動向なども～

速報性：高

#### 信頼性を見極めポイント

同じ出来事に対する報道でも、新聞社によって主張が異なる場合があります。客観的に情報を判断するためには、複数紙を読み比べてみましょう。

#### COLUMN

#### 新聞にもいろいろあります！

##### 内容

- ・全国紙 ⇄ 地方紙  
地方紙はその地方に関する記事が載っています。  
例)「河北新報」「信濃毎日新聞」「西日本新聞」等
- ・一般紙 ⇄ 専門紙  
専門紙は特定の分野に関する記事が載っています。  
例)「運輸新聞」「日経産業新聞」「日本教育新聞」等

##### 形態

- ・原紙  
縮刷版（1ヶ月分の原紙の全ページをA4サイズに縮小して本にしたもの）
- ・オンラインデータベース（著作権の関係から収録されていない記事があります。その場合は、新聞の原紙や縮刷版で記事を調べましょう。）
- ・WEB版

最近では、それインターネット

その情報が見られます。

#### COLUMN

#### URLのドメイン名から発信者をチェック！

- co.jp：企業等
- ac.jp：教育機関
- go.jp：政府機関  
⇒ 比較的信頼性が高い
- .com：商業組織
- .org：非営利組織  
⇒ 誰もが取得可能なため、事実に基づいた内容のみが書かれているとは限らない

### インターネット

～簡単！便利！でも、情報の信頼性に注意～

#### 信頼性を見極めポイント

速報性：高

- サイトを作成しているのは誰か？
- 最終更新日はいつか？
- サイト内のデータには作成元が示されているか？

インターネット上の情報は誰でも発信できます。そのため、情報の評価をより慎重に行わなければなりません。

### 雑誌 ～エッセンスが詰まった専門情報！～

速報性：中

**学術雑誌** 研究者が自分の研究成果を論文として投稿し、学術的な事前審査（査読）によって水準に達した論文が載せられます。テーマに対する専門的な内容を知ることができます。

**一般雑誌** 一般的な書店等で購入でき、主に時事的テーマの記事を、様々な著者（記者）が書いています。レポートに使う場合は、インターネット上の情報同様、情報の評価をより慎重に行う必要があります。

#### 信頼性を見極めポイント

基本的には、図書と同様です。

### 辞書・事典 ～言葉の意味や事柄を調べたければこれ！～

速報性：低

#### 信頼性を見極めポイント

ある言葉や事柄についての定説、通説がその分野の専門家によって書かれているため、情報を調べるときに最も信頼性が高い資料と言えます。ただし、出版までに時間がかかるため、新しい言葉や事柄は載っていない場合があります。

- 辞書** 言葉の定義
- 事典** ある事柄に関するまとまった解説  
例) 人名事典、百科事典、専門事典（掲載項目が専門分野に特化されている）

本によって解説が異なる場合があるので、複数の辞書・事典を見比べましょう。さらに、特定分野の専門的な辞書・事典もあります。  
例)「コミュニケーション事典」、「情報学事典」、「現代用語の基礎知識」等

#### COLUMN

#### キーワード探しの強い味方！

言葉の正しい表記や、関連語等、キーワードを増やしたいときにも役立ちます。(p.10 参照)